



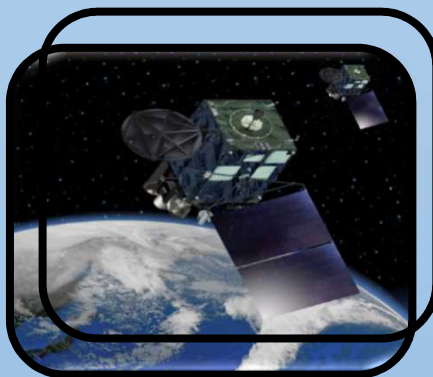
東京管区気象台
Tokyo Regional Headquarters, JMA



中学生用

職員募集

やりたいことが
きっと見つかる、
そんな職場



気象庁職員として活躍いただける人材を広く募集しています！！

👉 気象庁に入るには



主に人事院の国家公務員採用試験を経て採用されます。

国家公務員採用総合職（院卒者・大卒程度）

気象庁の幹部候補として、気象業務に関する政策・企画・立案、庁内や他省庁との総合調整等の業務に携わりながら気象庁の中核を担っています。

国家公務員採用一般職高卒程度（技術系）

全国の地方気象台等に配属となり、一般職大卒（技術）で採用された職員と同様に気象・地震火山等の観測や予報、地域防災支援などの業務に携わっていきます。

国家公務員採用一般職大卒程度（技術系）

気象・地震火山等の観測や予報、地域防災支援などの業務に従事するほか、本人のスキルに応じて本庁での業務に携わっていきます。

気象大学校学生採用試験

気象大学校において気象業務の基盤となる地球科学、基礎学術、一般教養に加えて、防災行政などの知識・技術の教育を受けます。卒業後は、将来の幹部候補として、気象業務の第一線で活躍することが期待されています。

国家公務員採用一般職大卒程度（行政）

主に総務部門に配置となり、総務・人事・経理といった事務系の業務に従事していきます。本人の能力や希望に応じて技術的な業務に携わることもあります。

青字⇒大卒程度試験

赤字⇒高卒程度試験

国家公務員
採用情報NAVI



国家公務員試験に関する
詳細はこちら⇒

👉 よくある質問

Q：入るのに専門知識は必要ですか？

A：必須ではありません。多くの先輩が採用後に気象や地震について学んでいます。研修で学んだり、配属先で教わりながら仕事を覚えていきます。

Q：転勤はありますか？

A：あります。通常は2～3年に一度ですが、個人の事情にできる限り配慮した上で人事異動が計画されます。

👉 先輩からのメッセージ

航空地方気象台で航空気象の観測業務を担当しています。主な業務内容として、目視で視程や雲の高さなどを観測し、気象観測測器から得られるデータと併せて管制官やパイロットなどに今の気象状況を迅速に提供しています。また、観測データの品質を保つため、風を測る風向風速計や雲の高さを測る観測測器の点検も定期的に行っています。特に、急な風の変化や雷などの気象現象は航空機の運航に大きな影響を与えるため、正確な気象情報をいち早く提供し航空機の安全な運航を支援していることに大きなやりがいを感じています。（令和2年度採用 一般職・大卒程度・物理 K. N.）



ご不明点等ありましたら、お気軽に問い合わせください！

東京管区気象台
〒204-8501

東京都清瀬市中清戸 3-235

電話：042-497-7183

担当：総務課人事係

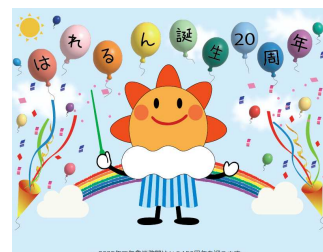
東京管区気象台
HP



東京管区気象台
X（旧Twitter）



気象庁
職員募集案内HP



気象庁マスコット
キャラクター「はれるん」